

厚生労働省への緊急要望(R7.1.22) 抜粋

日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会・日本慢性期医療協会

病院経営は破綻寸前 地域医療崩壊の危機

病院医療は、地域社会の最も重要なインフラのひとつです。
しかし昨今の物価の高騰や賃金の急激な上昇局面の中、
多くの病院がいま深刻な経営危機に陥っています。

緊急要望

- 直近の病院の経営状況を考慮し、地域医療を守るため、緊急的な財政支援措置を講ずること。
- 病院の診療報酬について、物価・賃金の上昇に適切に対応できる仕組みを導入すること。
- 社会保障予算に関して、財政フレームの見直しを行い、「社会保障関係費の伸びを高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という取扱いを改めること。

- 現在、**物価の高騰や賃金の急激な上昇局面**の中、病院の経営は非常に厳しい状況に置かれています。2024年に診療報酬改定が行われましたが、**物価が3%弱上昇**し、職員の処遇改善が求められた環境にもかかわらず、**本体改定率は0.88%**と非常に低く設定されました。
- **医療は診療報酬という公定価格で価格が決められており**、各病院は**物価上昇分を価格転嫁できない**環境にあります。
- 2024年度診療報酬改定において、過去のデフレ時代から継続されている「**社会保障関係費の伸びを高齢化の伸びの範囲内に抑制する**」という財政制約が、物価や人件費が上昇する環境下にもかかわらず踏襲されました。その結果、**病院の経営状況はさらに悪化し経営破綻の危機に直面**しています。